

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成20年8月28日(2008.8.28)

【公表番号】特表2004-506788(P2004-506788A)

【公表日】平成16年3月4日(2004.3.4)

【年通号数】公開・登録公報2004-009

【出願番号】特願2002-521549(P2002-521549)

【国際特許分類】

C 08 F 110/06 (2006.01)

C 08 F 2/38 (2006.01)

C 08 F 4/02 (2006.01)

C 08 F 4/603 (2006.01)

H 01 G 4/18 (2006.01)

【F I】

C 08 F 110/06

C 08 F 2/38

C 08 F 4/02

C 08 F 4/603

H 01 G 4/18 3 2 1

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月3日(2008.7.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】アイソタクチックポリプロピレンホモポリマーの総重量に対して25ppm未満のアルミニウム及び塩素の回収可能分値並びに1重量%未満のキシレン可溶分を有するアイソタクチックポリプロピレンホモポリマー。

【請求項2】アイソタクチックポリプロピレンホモポリマーの総重量に対して25ppm未満のアルミニウム及び塩素の回収可能分値並びに1重量%未満のキシレン可溶分を有するアイソタクチックポリプロピレンホモポリマーを含有するポリプロピレンフィルム。

【請求項3】(a) 最初に、メタロセン、活性剤化合物、及び第一のプロピレンホモポリマーを生成するのに十分な第一の濃度の連鎖移動剤の存在下でプロピレンを重合する工程、

(b) 二番目に、第一のプロピレンホモポリマーの存在下、及び25ppm未満のアルミニウムと塩素の回収可能分値を有するアイソタクチックポリプロピレンを生成するのに十分な第二の濃度の連鎖移動剤の存在下でプロピレンを重合する工程、並びに

(c) アイソタクチックポリプロピレンを回収する工程

を含む、アイソタクチックポリプロピレンホモポリマーを製造する二工程方法。